



Vol.7  
2016年2月1日

千支・セ・ト・ラ



卯

卯年の由来

◆卯の刻は夜明けの 6 時を中心とする約 2 時間。卯の方は東の方角。なお、酉は西の方角であることから、船舶の舵取りに「右(東)」を「卯面(うも)」から「おもかじ」。「左(西)」を「酉面」で「とりかじ」という。

■「卯」の読みは「ぼう」。門を無理に押し開けて中に入り込む様を表し「冒(おかす)」と同系の語とされる。草木が伸び出て地面をは覆うようになった状態と解釈されている。

納骨堂に興味がある年代は、1位30代、2位20代(後半)

~ライフプランと納骨堂について~

「やすらぎの塔」のホームページを閲覧状況をデータから調査すると、一番興味を示しているのは「30代の既婚者」。次いで「20代(後半)」という結果が出ている。もちろん、65歳以上の方も多いが、とても興味のある結果となった。

しかも、閲覧時間が一番長いのが「納骨堂Q&A」。真剣さを感じますね。

ライフプランと納骨堂

30歳という年齢は、仕事も充実して、家族も出来て、人生の中で「大きな買い物」をする年代でもあります。

30歳の方からすると、ご両親(特に父親)の年齢が「50代後半~60代前半」という年齢ではないかと思えます。

この年齢になると、「健康・介護・葬儀・お墓…」などの終活問題について真剣に考える年代でもあります。

いわゆる「自分の将来・人生設計」=ライフプランを意識する時期です。

そして30代になれば、自分も親となり、自分の親に対する「感謝」

の気持ちも膨らんでくるのではないのでしょうか。

「親の心子知らず」と言われるように、子供の時代は親のありがたみや大変さを知ることもなかったのに、自分が親になって初めて両親の大変さを知る事となります。

自分だけでなく、ご夫婦・子供・両親を含めた「家族全体」の長期にわたる「ライフプラン」を考えることになるでしょう。例えば、住宅ローンで考えると、30歳で35年ローンを組んだ時、35年のライフステージの中で、出産やお子様の就学、就職、結婚、疾病、定年、親の介護、老後の生活問題など様々な場面に遭遇します。

